

PRESS RELEASE



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日：2019年10月28日

タイトル：地域教育・研究センター第1回公開講座

「東北から災害復興を考える」のご案内

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

尚綱学院大学は、専門性を活かし合い、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくことを目指し、「尚綱SDGs Action」プロジェクトを展開しています。今回、プロジェクトの一環として、地域教育・研究センターでは、「**東北から災害復興を考える**」をテーマに連続公開講座を開催する運びとなりました。

ラグビーワールドカップが開催されている今、東日本大震災の発災10年目に向けては、復興各領域・各層で10年総括検証が始まっています。**震災復興を考えるに際しては、古今内外の実績に適切に学んでいく必要があります**が、その学びにおいては、日本独特の「復興」概念とその実相を慎重に吟味したところでない、木に竹を接ぐ結果となってしまいます。今回は諸外国の実績のいくつかを紐解きながら、**日本の震災復興の視座**を参加者のみなさまと考えます。

第1回目の講演会は、専修大学人間科学部教授で、日本災害復興学会会長の**大矢根先生**を講師に、10月31日（木）18時からエル・ソーラ仙台大研修室を会場に開催いたします。つきましてはお忙しい時期とは存じますが、是非取材頂き、報道下さいますようお願いいたします。

記

【日時】

10月31日（木）18:00～20:00（受付17:45）

【会場】

エル・ソーラ仙台 大研修室

※仙台市青葉区中央1-3-1 AER28階（JR仙台駅から徒歩2分）

【内容】

詳細は裏面参照

<本件に関する問い合わせ先>：尚綱学院大学政策企画室（佐藤）
TEL 022-381-3302 Email: seisaku@shokei.ac.jp

日時

10月31日(木)

18:00-20:00

(受付17:45)

会場

エル・ソーラ仙台
大研修室

仙台市青葉区中央1-3-1 AER28階
(JR仙台駅から徒歩2分)

講師

専修大学人間科学部 教授
日本災害復興学会 会長
おお や ね じゅん

大矢根 淳 氏



1962年、東京都生まれ。
慶應義塾大学法学部政治
学科卒業、同大学大学院
社会学研究科社会学専攻、
博士課程修了 (Ph.D)。
専修大学人間科学部教授。
立教大学社会学部、慶應
義塾大学文学部、非常勤
講師。

主な著書に、『災害における人と社会』(翻訳、文化書房博文社1999)、『災害社会学入門』『復興コミュニティ論入門』(共編著、弘文堂2007)、『新しい人間、新しい社会』(共著、京都大学学術出版会2015)、『防災と支援』(共著、有斐閣2019)など。

尚綱
SDGs
Action

ラゲビーワールドカップが開催されている今、東日本大震災の発
災10年度目、復興各領域・各層で10年総括検証が始まっている。
震災復興を考えるに際しては、古今内外の実績に適切に学んでい
きたいところである。しかしながら、その学びにおいては、日本
独特の「復興」概念とその実相を慎重に吟味したところでない、
木に竹を接ぐ結果となってしまう。諸外国の実績のいくつかを紐
解きながら、日本の震災復興の視座を考えてみたい。

入場無料

定員60名

要申込

世界の災害から見た、

大規模災害からの復興の課題と

東日本大震災

尚綱学院大学 地域教育・研究センター
第1回公開講座「東北から災害復興を考える」

尚綱学院大学は、専門性を活かし合い、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくことを目指し、「尚綱SDGs Action」プロジェクトを展開しています。

尚綱学院大学 地域教育・研究センターでは、「東北から災害復興を考える」をテーマに連続公開講座を開催します。

申込方法について

下記URLの申し込みフォームにて、必要事項を入力してください。
<https://forms.gle/dLYe4pMo82Y26Zav7>

お問い合わせについて

尚綱学院大学政策企画室 佐藤
Tel 022-381-3302 Fax 022-381-3325



尚綱SDGs Action

尚綱学院大学は、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくためSDGsを推進しています。

※SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」のことです。17のゴール・169のターゲットから構成されています。



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる